

2019年7月1日発信の下記ニュースリリース中、車両の冠水・水没による救援要請件数に誤りがありました。

ここに訂正するとともにお詫び申し上げます。

※正 救援要請：九州 **45**件（鹿児島25件、宮崎4件、熊本**16**件）
誤 救援要請：九州30件（鹿児島25件、宮崎4件、熊本1件）

九州広報2019-7505（修正版）

2019年7月1日（再送）

大雨のため冠水によるロードサービス救援要請が急増！ ～冠水路に遭遇したら安易に進入せず、迂回しましょう～

一般社団法人 日本自動車連盟（JAF）九州本部（本部長 金野 誠）は、南部九州で降り続く大雨の影響によるロードサービス要請件数をまとめました（速報値、6月30日0時～7月1日17時）。

短時間で局地的に激しい雨が降ったため車両が冠水・水没したことによる救援要請は九州で30**45**件、県別内訳は鹿児島25件、宮崎4件、熊本**16**件です。中には、冠水路（＝水があふれた道路）を走行したことが原因と思われる事例もみられました。

これを受けJAF九州本部では、下記のとおり注意ポイントをまとめました。これから梅雨末期や台風、ゲリラ豪雨等による大雨の時期を迎えますので、クルマの浸水トラブルには十分お気を付けてください。

大雨・集中豪雨時にクルマの浸水トラブルを防ぐポイント

- 1 大雨・集中豪雨の際はなるべく運転を控えましょう
視界や見通しが悪く危険です。運転する場合は決して無理をしないでください。
- 2 周囲より低い位置にある道路は避けましょう
地下道やアンダーパス（鉄道などの下を通過する道路）は低い位置にあり、水がたまりやすいため、短時間で水位が上昇する恐れがあります。
- 3 冠水している道路は避けましょう
比較的水深が浅く（5～10cm程度）でも、水面下の様子は分かりにくく落輪等の危険性が高まります。
- 4 クルマの保管場所は安全ですか？
周囲より低い駐車場には水がたまりやすいので、安全を確保した上で状況を確認しましょう。
- 5 万が一乗車中に浸水してしまったら？
冠水により窓やドアが開かない時やシートベルトがはずれない時のため、ガラス割りハンマーやシートベルトカッターを車内に常備しましょう。

<JAFユーザーテスト>

JAFでは、水没・豪雨に関する実験を行い、映像および資料にて広く公開しています。

◆動画編 →→→



◆資料編↓



このリリースへの問い合わせ、各支部への取材申し込みは以下までお願いします。

一般社団法人 日本自動車連盟
福岡支部事業課 担当：永松・近村
福岡県福岡市早良区室見5-12-27
Tel：092(841)7670

（平日 月～金曜日 9:00～17:30）

https://www.jaf.or.jp/CGI/request/rq_form.cgi

